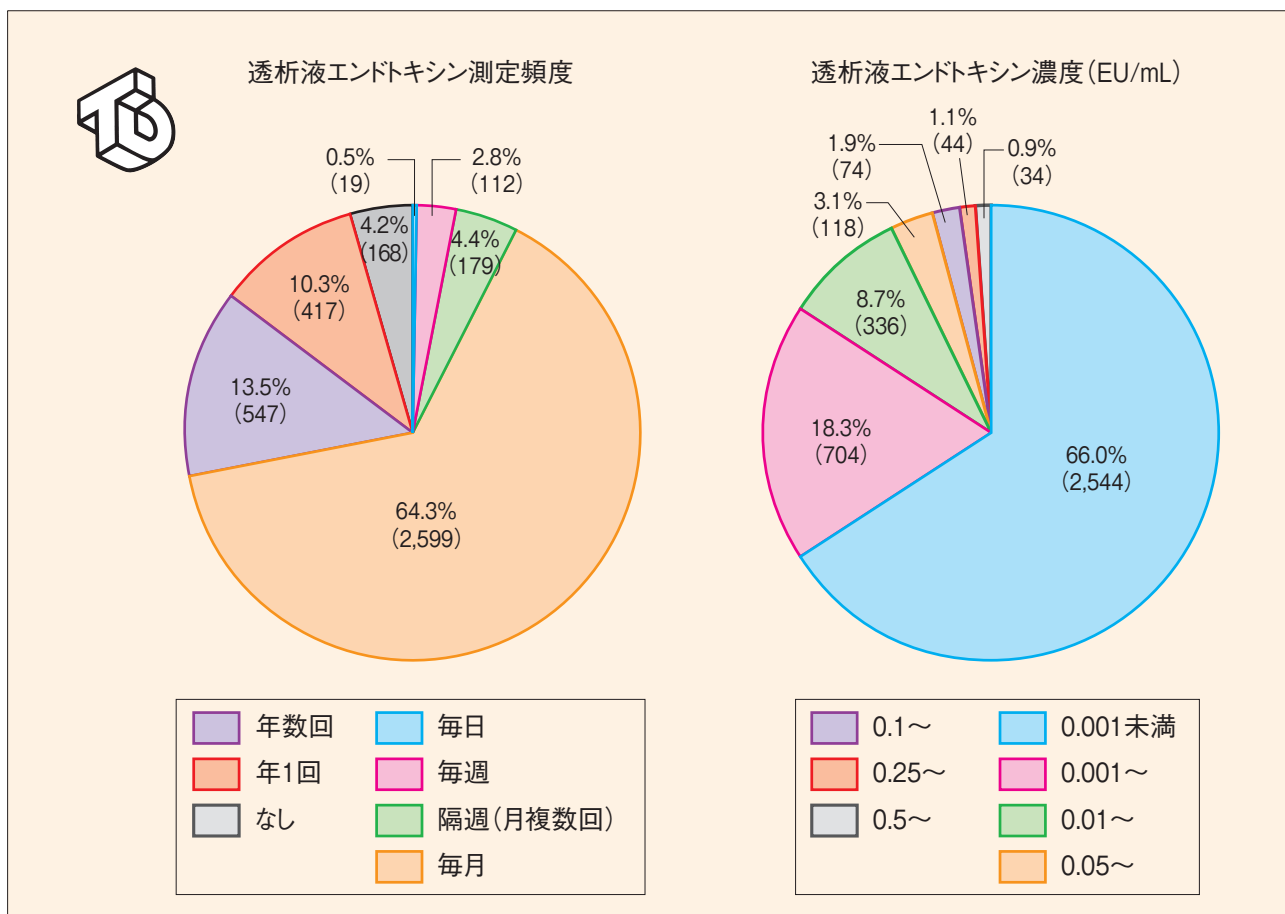


1) 透析液水質管理状況

(1) 透析液エンドトキシン検査 (図表22)



透析液エンドトキシン測定頻度	毎日	毎週	隔週(月複数回)	毎月	年数回	年1回	なし	合計	不明	記載なし	総計
施設数	19	112	179	2,599	547	417	168	4,041	99	29	4,169
(%)	(0.5)	(2.8)	(4.4)	(64.3)	(13.5)	(10.3)	(4.2)	(100.0)			

透析液エンドトキシン濃度 (EU/mL)	0.001未満	0.001~	0.01~	0.05~	0.1~	0.25~	0.5~	合計	不明	記載なし	総計
施設数	2,544	704	336	118	74	44	34	3,854	112	203	4,169
(%)	(66.0)	(18.3)	(8.7)	(3.1)	(1.9)	(1.1)	(0.9)	(100.0)			

施設調査による集計

解説

透析液エンドトキシン濃度測定頻度はベッドサイドコンソール台数が1台以上のアンケート回答全施設4,169施設中4,041施設(96.9%)から回答があり、回答率は昨年(96.5%)とほぼ同等であった。回答施設の95.8%で少なくとも年1回以上の透析液エンドトキシン濃度測定が行われており、この割合も2010年末(95.2%)と概ね同様であった。72.0%の施設で透析液エンドトキシン濃度は月1回以上(日本透析医学会水質基準)施行されていた。これは2010年の透析液水質確保加算算定の影響が示唆された2009年末から2010年末の透析液エンドトキシン濃度月1回以上施行割合大幅増(36.0%から70.6%)に引き続き改善である。

透析液エンドトキシン濃度は3,854施設(92.4%)から回答が得られた。日本透析医学会水質基準0.05EU/mL未満は93.0%で達成されており、2010年末(91.7%)、2009年末(84.2%)と比較して改善傾向が継続している。